

# きょうちくとう

夾竹桃



Summer

なつ

2023

Zikei Hospital PR Magazine  
"OLEANDER"

多職種で支える精神科医療  
シリーズ第4回

## 認知症の人の意思決定を 尊重する支援を

「反復経頭蓋磁気刺激療法」(rTMS療法)の紹介  
～うつ病治療の新しい選択肢～

顔認証付きカードリーダーご利用方法

ZIKEI NEWS ● 看護師のユニフォームが変わりました

シリーズ【認知症】第3回  
『どうすればいいの～認知症の嫉妬妄想』





# 認知症の人の意思決定を 尊重する支援を



病棟医長  
安田 華枝

認知症に対する予防や治療には大きな期待が向けられています。昨年新しい認知症治療薬がアメリカ国内で条件付き承認され、日本円にして年間600万円余りの医療費と共に話題になりました。これはアルツハイマー病の脳内にたまったアミロイド $\beta$ <sup>ベータ</sup>というタンパク質を除去するための抗体医薬で、初の中核症状の進行抑制に関与する薬です。

一方で認知症を発症する前の40歳代頃から、脳内では原因タンパク質の蓄積が始まっており、どのタイミングで治療を開始するのが効果的なのかはまだ議論の途上です。一部の若年発症を除くと、認知症の原因は老化と密接に結びついており、例えば90歳代の方の60%は認知症であると報告されています。高齢になれば誰もが認知症になっていくということで、脳の老化と病気の境界は厳密には分かち難く、そのため予防や治療の評価も難しい面があります。

認知症の初期は診断されることも含めて、特に不安や抑うつを伴いやすい時期です。不安や恥づ

かしさから助けを求めにくく、周囲からは失敗を指摘されて自信を失い、孤立して落ち込むことも増えます。ひどくなると、防衛的に身近な人に敵意や妄想を持ってしまうこともあります。

また、急に興奮して認知症が進んだようにみえる「せん妄」が起これば、周囲は安全を優先して、本人の意見が尊重されないことがあります。このように大切な人との関係が変化し、自己決定が制限されることも、認知症の中核症状に加えて、精神的にとってもつらいことです。

2018年に「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン」が定められました。日常生活で「何を着る、食べる、出かける」といった身近な事柄や、社会生活では「どこに住む」など重大な場面で、その人の意思を尊重するものです。

その人がこれまで大事にしてきた価値観や、住み慣れた生活習慣が反映できるよう、時間をかけて共に考えることを推奨しています。少し困難か

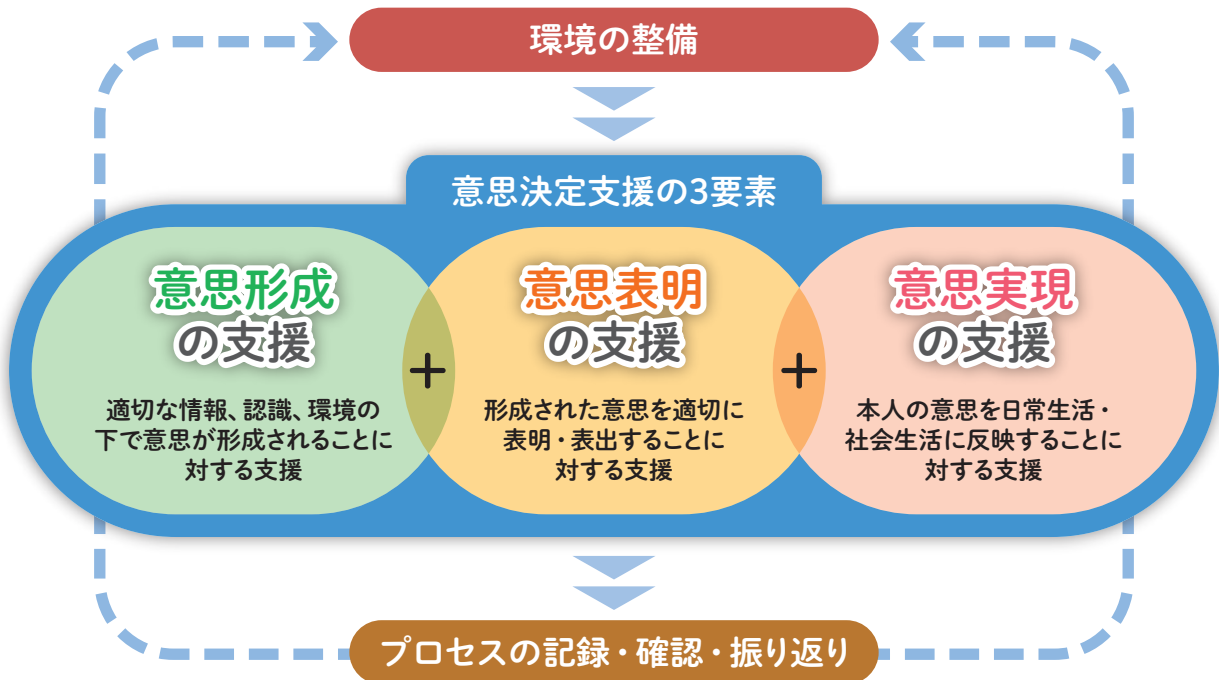
## 意思決定支援の原則

1 | 本人の意思の尊重

2 | 本人の意思決定能力への配慮

3 | 早期からの継続的支援

### 意思決定支援のプロセス（流れ）



令和3年度 老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドラインの普及・定着に向けた調査研究事業 編

## 自分らしく過ごすことが、一番の治療

と思われるような希望でも、最初から否定せず、その気持ちを十分言葉にしてもらってから、解決策と一緒に考えるというプロセスを繰り返していきます。認知症になったとしても、自分を変わずに尊重してくれるという安心感があれば、適切な時期に必要な援助を取り入れて、希望に沿った生活を準備できるでしょう。

一方で介護者の方の不安や負担を軽減することも重要です。せん妄、抑うつ、妄想など認知症の行動・心理症状（BPSD）は、介護者にとっては中核症状以上に負担が大きいこともあります。

環境調整や薬を調整することで改善します。当院は岡山県認知症疾患医療センターに指定されており、生活面の支援や家族の負担軽減等のご相談にも、看護・心理・精神保健福祉士など専門職チームで対応しています。

認知症に限らず老化に対して、よく眠り、適切に食べ、筋力を維持して循環を良くすることは、脳内の血流を増やし老廃物の排泄<sup>はいせつ</sup>に有効とされており、これは適切な予防です。また介護者も含めた穏やかな関係の中で、自分らしく過ごすことが、一番の治療になるのではないでしょうか。

[2022年9月19日（月） 山陽新聞朝刊掲載]

**略歴** 岡山大学医学部卒業。岡山大学精神神経科入局後、川崎病院、さぬき市民病院、国立病院機構岡山医療センター、岡山大学病院に勤務。医学博士取得後、米国ペンシルヴェニア大学神経変性疾患研究所に留学。三船病院、万成病院を経て2020年より慈恵病院に勤務。精神保健指定医、日本精神神経学会専門医・指導医、日本認知症学会専門医・指導医。

# 「反復経頭蓋磁気刺激療法」 (rTMS療法)の紹介

## ～うつ病治療の新しい選択肢～

副院長  
難波 多鶴子

### 1. はじめに

#### —当院でもrTMS療法が可能になりました

令和元年6月から、うつ病に対する治療としての「反復経頭蓋磁気刺激療法」(rTMS療法)が保険診療としてみとめられています。このたび当院でもこの治療を行う装置を導入し、rTMS療法が可能となりましたのでご紹介します。

### 2. rTMS療法のしくみ

rTMS療法では、頭の外側に「トリートメントコイル」をあてて、磁気刺激を行います(図1)。これによってわずかな電流が脳内に流れ、神経細

胞を刺激します。脳の特定の場所の神経細胞をくりかえし刺激することで、うつ病によるうつ症状の改善が期待されます。

### 3. rTMS療法の実際

図2にあるような椅子(「トリートメントチェア」)に座って行います。1日1回約40分間の刺激を、週に5日のペースで、治療の期間は効果のかたによって違ってきますが、4～6週間行います。rTMS療法のトレーニングを受けた医師が治療にあたります。

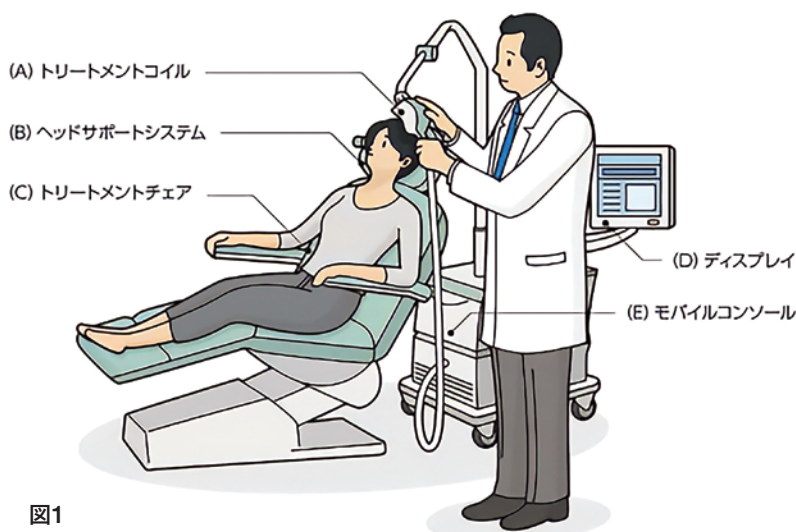


図1



図2

日本精神神経学会「rTMS適正使用指針」より  
[https://www.jspn.or.jp/uploads/uploads/files/activity/Guidelines\\_for\\_appropriate\\_use\\_of\\_rTMS.pdf](https://www.jspn.or.jp/uploads/uploads/files/activity/Guidelines_for_appropriate_use_of_rTMS.pdf)



#### 4. rTMS療法の対象

—決められた条件があります

保険診療としてrTMS療法を行うことができるのは、表1に示す条件の方のみになります。「お薬をのみたくない」といった理由で、rTMS療法を希望されても対象になりません。しかし、副作用が強く出るためにお薬が十分のめない方の場合は、対象になる可能性があります。また、うつ病の症状にとってもよく似ていても、対象にならない場合（例：躁うつ病のうつ状態、身体の病気が原因のうつ状態）があります。

（表1）rTMS療法の対象となる患者さまの条件

- ① 18歳以上であること
- ② 中等症以上の抑うつ症状を示すうつ病であること
- ③ 抗うつ薬による適切な薬物療法で十分な改善が得られていないこと

表1の条件を満たしたうえで、さらに「適正使用指針」（rTMS療法を行う上でのルール）に照らして、rTMS療法のトレーニングを受けた専門医が、治療の対象として適切かどうかの判断をします。

#### 5. 有効性

—効果には限界があります

どのくらいの方にこの治療が有効なのでしょう。お薬の治療効果が上がらないうつ病の患者さん（約3割おられます）に対して、お薬と併用してrTMS療法を行った場合、3～4割の方にある程度の効果がみられ、2～3割の方は病気の前の状態まで回復しています。しかし逆に言えば、この治療を受けても6～7割の方には効果が出ないと考えられます。

万能の治療方法でないことをご承知ください。

#### 6. 安全性

—安全性の高い治療です

頭に磁気刺激を加えるので、刺激中に頭皮の痛みや不快感・肩こりなどを訴えるかたが比較的多いようです。刺激にはだんだん慣れてきますが、初めのころは、刺激の強さを調節するなどして対応が可能です。重篤な副作用として、けいれんがありますが、これは非常にまれですし、抗うつ薬と比べても、頻度が高いわけではありません。

#### 7. 治療を希望される場合

—まずは主治医にご相談を

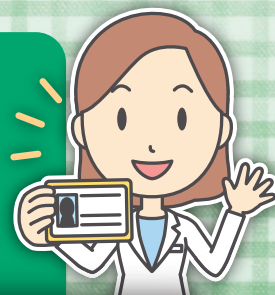
「rTMS療法を受けてみたい」「対象になるかどうか知りたい」という方は、まずは当院主治医にご相談ください。また、当院以外の医療機関で治療中の方は、必ず紹介状が必要となります。詳しくは当院ホームページでご確認ください。ホームページでは「rTMS適応チェックリスト」を掲載しておりますので、ご自分であらかじめ適正のチェックが可能です。また、医療機関さま向けに「うつ病に対するrTMS療法希望患者様診療情報提供書」の書式を提供しております。

#### 8. おわりに

rTMS療法は、全てのうつ病の患者さまに有効というわけにはいきませんが、お薬の効果がとばしい方が恩恵を受けられる可能性もあります。この治療を通じて、うつ病で苦しむ患者さまの治療に少しでも貢献したいと考えております。



# (マイナンバーカードの健康保険証利用) 顔認証付きカードリーダー ご利用方法



## 来 院



顔認証付きカードリーダーに  
マイナンバーカードを置く

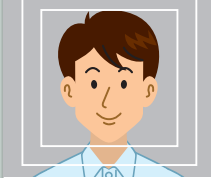
本人確認の方法を  
選んでください  
本人情報は目的外に  
使用しません

顔認証を行う

暗証番号を入力

終了する

顔を枠内に  
入れてください



暗証番号を  
入力してください

● ● ● ●

1 2 3  
4 5 6  
7 8 9  
0 キャンセル

### 本人確認

- ◇本人確認の方法を選ぶ
- ◇顔認証または暗証番号を入力

(40歳以上対象)  
過去の検診情報を当機  
関に提供することに同  
意しますか

この情報はあなたの診  
察や健康管理のために  
使用します

同意する

同意しない・40歳未満の方

過去のお薬情報を当機  
関に提供することに同  
意しますか

この情報はあなたの健  
康管理のために使用し  
ます

同意する

同意しない

### 同意取得

◇各種同意事項の確認・選択

#### 【同意確認を行う事項】

##### 特定健診情報

40歳から74歳までの方を対象に、メタボリックシンドロームに着目して行われる健診結果の情報です。

##### 薬剤情報

医療機関を受診し、薬局等で受け取ったお薬の情報です。

## 受付完了

慈圭太郎 様  
確認が完了しました  
終了する場合は、マイ  
ナンバーカードを取り  
出し、待合室でお待ち  
ください

高額療養費制度を  
利用する方はこちら

マイナンバーカードを  
顔認証付きカードリー  
ダーから取り出し確認  
完了です。

受付職員が「**受付番号  
票**」をお渡しいたしま  
す。診察時・会計時には  
「受付番号」で、呼び  
します。

## 高額療養費制度を利用する方のみ

提供する情報  
(限度額情報)を選択

「限度額適用認定証」  
がなくても、限度額を  
超える支払いが免除  
されます。

限度額情報を  
提供しますか

提供する

提供しない

限度額適用認定証とは、窓口での支払いが高額になる場合に、自己負担額を所得に応じた限度額にするために医療機関に提出する証類です。



## 看護師のユニフォームが 変わりました

4月から看護師のユニフォームが変わったので紹介します。数種類のユニフォーム案に、職員全員による投票が行われました。色やデザインだけでなく、素材の質感や、動きやすさもユニフォームを選ぶ上で大事なポイントです。実際に試着を繰り返し、数回の投票を経て、2種類のユニフォームが選ばれました。

上着がピンク、下がネイビーのセットは明るく元気なイメージ。上着がネイビー、下がベージュのセットはスタイリッシュで知的なイメージです。



上着＝ピンク 下＝ネイビー

上着＝ネイビー 下＝ベージュ

／スタイリッシュで知的なイメージ／

／明るく元気なイメージ／

### シリーズ【認知症】第3回

## 『どうすればいいの？認知症の嫉妬妄想』



嫉妬妄想は認知症の初期から中期にかけてはよく見られる妄想です。この妄想はパートナーへの暴力や攻撃性につながることもあり、介護家族が手を焼く原因となります。認知症では、もの盗られ妄想に次いで多い妄想であり、男女を問わず起こる可能性があります。

嫉妬心は誰でも持つ人間の感情であり、さまざまな要因によって引き起こされます。認知症の初期段階では、自分が役に立たなくなったという不安感が

生じます。そのため、パートナーだけが楽しそうに外出していると、さらに残された寂しさを感じることになります。自分の役割を果たせなくなったことにイライラや怒りを感じ、嫉妬妄想によってパートナーを攻撃すること、自分の立場を取り戻そうとするのです。

こういったメカニズムを理解して、嫉妬妄想の予防や軽減にはどうすればよいか考えてみましょう。まず、パートナーは関係を見直し、優しい態度で接すること、状況改善することができず、家庭内での役割が残っている場合、嫉妬妄想の発生が抑えられる傾向があります。認知症の人の望みや感じていることを理解し、**笑顔とコミュニケーションを大切にしましょう。**認知症の人ができることや役割を尊

重し、自己価値を感じられるような会話や活動を提供することが重要です。**ありがとうと声に出して言ってみましょう。**しつこく何度も言ってもポイントが稼がまじょう。日常的に感謝の気持ちを伝えることで、自分が役に立っていると感じてもらえます。

忘れることはOKです。パートナーはありのままを受け入れ、認知症の人の立場や気持ちを考え、**自信を失っている相手の応援団になるという心構えが必要**です。これらのアプローチは嫉妬妄想を軽減させるコツとなります。何かよい薬があるかと尋ねられても、嫉妬妄想に対しては思いやりに勝る特効薬はありません。認知症の人の機嫌が悪い時にも同じような対応でなんとかなるものです。



## 外来担当医師

完全予約制

令和5年8月1日現在

## 診療時間

9:00～15:00

## 初診／受付時間

8:30～11:00

## 専門外来

- アルコール
- 禁煙
- もの忘れ
- セカンドオピニオン
- 青年期

|      | 月曜日                          | 火曜日                                                      | 水曜日                     | 木曜日                     | 金曜日                              | 土曜日         |
|------|------------------------------|----------------------------------------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------------------|-------------|
| 再診   | 堀井 茂男<br>岡田 志保<br>城戸 高志      | 石津 秀樹<br>難波 多鶴子<br>武田 俊彦<br>渡部 一予<br>池田 智香子<br>青木 省三     | 堀井 茂男<br>山内 裕子<br>的場 翔也 | 武田 俊彦<br>石津 秀樹<br>安田 華枝 | 岡 沢郎<br>鷺田 健二<br>蜂谷 知彦<br>山下 理英子 | 定期の診察はありません |
| 専門外来 | 午前 (アルコール初診)<br>山下 理英子<br>午後 | (アルコール初診)<br>担当医<br>(アルコール再診)<br>堀井 茂男<br>(禁煙)<br>山下 理英子 | (もの忘れ)<br>石津 秀樹         | (青年期)<br>担当医            | (アルコール再診)<br>堀井 茂男<br>山下 理英子     |             |

## 慈圭病院の理念

わが子でも安心して任すことのできる  
精神科病院

創立以来、職員ひとりひとりが、患者さまとご家族の信頼にたる病院であるかを問い続けています。

## 五大基本原則

- 1 慈愛の医療**  
ひとりひとりの患者さまに、慈愛と尊敬のころをもって快適な医療を提供します。
- 2 最先端の精神科医療**  
急性期医療からリハビリテーション、地域医療まで、良質で、最先端の精神科医療を実践します。
- 3 最高水準の医療倫理**  
ヒューマンズに根ざした至高の医療倫理を保ち、安全で安心、納得のいく医療を実行します。
- 4 積極的な地域貢献**  
地域との連携を密接にし、精神科基幹病院としての役割をはたすとともに、こころの病の理解のための教育、啓発活動を積極的に行います。
- 5 チャレンジ精神**  
私たち病院スタッフは、常にチャレンジ精神を忘れず、和の力を結集し、さらなる挑戦、実践を行います。

## 病院へのアクセス

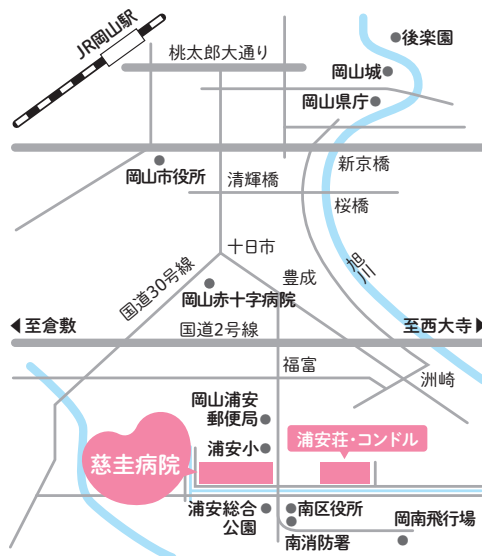
JR岡山駅より南へ約8km(浦安総合公園近く)

## 車で

広島方面から……国道2号線「青江」で側道へ、「豊成」交差点を南へ約10分  
大阪方面から……国道2号線「福富」で側道へ、「豊成」交差点を南へ約10分

## バスで

岡電バス……JR岡山駅前より「浦安体育館・岡南飛行場行」に乗り、「慈圭病院」下車(岡山駅より約30分)



## お問い合わせ

☎ (086) 262-1191 受付時間 8:30～17:30

24  
時間

## 精神科救急対応

時間外・休日の急患対応いたします

ホームページもご覧ください <https://www.zikei.or.jp/>